

【2026年度 再構築後の市民大学 各コース選定の考え方】

役割1学びの裾野を広げる内のカテゴリ3に該当するものを継続または統合して実施。
カテゴリ3には、「市民活動や地域活動に発展する可能性が高い分野、テーマを選定」に該当する歴史・自然・人間が該当しているが、人間に関してはカテゴリ2に該当する「多くの市民に興味・関心を持たれやすい分野、テーマを選定」に偏っている。

上記から、一度休止し、カテゴリ3「市民活動や地域活動に発展するまたは導入するため」の講座にして行くための検討を行うものとする。
上記と同様に、法律・国際学についても、「多くの市民に興味・関心を持たれやすい分野、テーマを選定」していた経緯から、カテゴリ3に該当する構築に向けた検討を行っていきたい。

講座体系の考え方

役割	カテゴリ	テーマ選定・内容の方向性	学習方法	主な効果指標	2025年度 該当講座名	2026年度 該当講座名
学びの裾野を広げる	1	・多くの市民に興味・関心を持たれやすい分野、テーマを選定 ・気軽に参加しやすい内容	・受動的な学習スタイルで実施 ・受講者同士のつながりづくりは行わない	・満足度	・学びのきっかけづくり講座 ・共催事業(3水、昭和薬科大)	・学びのきっかけづくり講座 ・共催事業(3水、昭和薬科大)
	2	・多くの市民に興味・関心を持たれやすい分野、テーマを選定 ・気軽に参加しやすい内容	・受動的な学習スタイルを中心に実施 ・受講者同士が交流しながら学ぶ時間を設ける	・満足度 ・今回学んだことを今後に活かせるか	●市民大学 ⇒健康 ※法律・国際学は休止中 ・家庭教育支援事業テーマ別講座 ・思春期の子を持つ保護者向け講座 ・パパと一緒にきしゃポッポ	・家庭教育支援事業テーマ別講座 ・思春期の子を持つ保護者向け講座 ・パパと一緒にきしゃポッポ
	3	・市民活動や地域活動に発展する可能性が高い分野、テーマを選定 ・気軽に参加しやすい内容	・受動的な学習スタイルを中心に実施 ・必要に応じて受講者同士が交流しながら学ぶ時間を設ける	・満足度 ・今回学んだことを今後に活かせるか	●市民大学 ⇒自然 ⇒歴史 ⇒人間 ・小学校低学年の保護者向け講座 ・小学校中・高学年の保護者向け講座 ・障がい者向け講座 ・共催事業(地方史研究会、国際交流センター)	●市民大学 ⇒歴史 ・小学校低学年の保護者向け講座 ・小学校中・高学年の保護者向け講座 ・障がい者向け講座 ・共催事業(地方史研究会、国際交流センター)
学びを深め、活かす	4	・市民活動や地域活動に発展する可能性が高い分野、テーマを選定 ・学び合い、理解促進につながる内容	・受動的学習スタイルとグループワークなどの能動的学習スタイルを組み合わせる実施	・理解度 ・今回学んだことを今後に活かせるか	・家庭教育支援学級 ・家庭教育支援学級ゼミ ・まちチャレ(4講座)	・家庭教育支援学級 ・家庭教育支援学級ゼミ ・まちチャレ(4講座)
	5	・市民活動や地域活動に発展する可能性が高い分野、テーマを選定 ・地域活動に参加する意欲の醸成につながる内容	・受動的学習スタイルと現場体験等の能動的学習スタイルを組み合わせる実施	・理解度 ・学んだことを実践に移せそうか	●市民大学 ⇒福祉 ⇒環境	●市民大学 ⇒健康+福祉 統合 ⇒自然+環境 統合 ⇒デジタル 新規
	6	・市民活動や地域活動で生じている課題解決に寄与するテーマを選定 ・(すでに活動を実践している方)知識や技術の向上につながる内容	・受動的学習スタイルと現場体験等の能動的学習スタイルを組み合わせる実施	・理解度 ・学んだことを実践に移せそうか		

●健康を福祉と統合
●法律+国際学は再検討

●自然を環境と統合
◆人間は再検討

